

保護司会会報

発行 ■ 西多摩地区保護司会 会長 武内昌一 編集 ■ 西多摩地区保護司会広報委員会 発行日 ■ 平成29年3月15日



■ 吉祥富士

人はみな、
生かされて
生きてゆく。

主



第65回 社会を明るくする運動

目次

- ・ 東京更生保護事業関係者顕彰式典 2
- ・ 西多摩地区保護司会新年会 3
- ・ 多摩連保護司全体研修会 3
- ・ 各分区視察研修 4 ~ 7
- ・ ブロック別実務研修 7
- ・ 会務報告 8

東京更生保護事業関係者 顕彰式典

平成二十八年度東京更生保護事業
関係者顕彰式典は、十一月二十二
日(火)に、「オリンパスホール八王
子」において、約一千名の更生保護
関係者の参加を得て開催されました。
式典は、高尾山薬王院山伏の法螺貝
と八王子車人形西川古流座の人形
芝居及び八王子芸子衆の舞いの後、
更生保護事業の進展に寄与された
一千百八十五名及び十二団体の方々
に対し、その功績が顕彰されるととも
に謝意が表されました。

また、式典には、法務省保護局稲
葉更生保護振興課長、全国保護司連
盟野沢理事長、東京地方検察庁堺檢
事正、八王子市石森市長のほか多数
の来賓のご祝辞をいただきました。

式典で顕彰された西多摩地区保護
司会の方々は次の通りです。

合川	大野	井上	久保田	齋藤	高村	徳永	福田	町田	宮澤
平山	倉持	忠男	千代子	けい子	けい子	初枝	富江	富江	前園
和治	佐久間	篤子	(瑞穂分区)	(福生分区)	(青梅分区)	(福生分区)	(瑞穂分区)	(羽村分区)	(青梅分区)
(瑞穂分区)	砂由利	恭子	(羽村分区)	(檜原分区)	(青梅分区)	(青梅分区)	(瑞穂分区)	(羽村分区)	(羽村分区)
(青梅分区)	澤井	篤子	(瑞穂分区)	(青梅分区)	(青梅分区)	(青梅分区)	(羽村分区)	(羽村分区)	(青梅分区)
(青梅分区)	和子	(瑞穂分区)							
(青梅分区)	寿夫	(羽村分区)							
(青梅分区)	邦雄	(福生分区)							
(青梅分区)	賢次	(瑞穂分区)							
(青梅分区)	則夫	(日の出分区)							
(青梅分区)	義雄	(瑞穂分区)							
(青梅分区)	徳秀	(瑞穂分区)							
(青梅分区)	仁子	(瑞穂分区)							
(青梅分区)	昭治	(青梅分区)							

法務大臣表彰

下嶋 和彦 (瑞穂分区)

叙勳

合川 哲夫 (あきる野分区)
平山 和治 (瑞穂分区)

全国保護司連盟理事長表彰

平野 春郎 (あきる野分区)
森田 勝 (福生分区)

関東地方更生保護委員会 委員長表彰

山森 健吉 (青梅分区)
吉野 俊次 (檜原分区)

東京保護観察所長表彰

大久保 雄二 (奥多摩分区)
河邊 篤子 (青梅分区)
川勝 宿実 (あきる野分区)
島田 瞳 (青梅分区)
田中 英一郎 (青梅分区)
知久 一成 (青梅分区)
藤谷 立自 (青梅分区)
村上 浩 (あきる野分区)
村野 光治 (福生分区)

関東地方保護司連盟会長表彰

松本 ヨシ子 (日の出町)

同 感謝状

東京都保護司会連合会 会長表彰

大谷 宣雄 (青梅分区)
加藤 孝一 (青梅分区)
杉村 光志 (福生分区)
竹田 誠二 (奥多摩分区)
田玉 豊 (あきる野分区)
辻本 恵子 (日の出分区)
中原嶋 良昭 (福生分区)
平田 薫 (青梅分区)
みつ枝 恵子 (瑞穂分区)
治生 良昭 (福生分区)
昭治 薫 (青梅分区)

西多摩地区保護司会講演会

十二月十四日羽村市「ゆとりぎ」
で西多摩地区保護司会主催による講
演会を地域活動部が担当し開催した。

保護観察所立川支部、各市町村担
当課長の出席をいただき、保護司、
更生保護女性会員、民生児童委員な
ど百七十二名が参加した。

講師は、都立多摩総合精神保健福
祉センターの苅部春夫氏と八王子ダ
ルク施設長加藤隆氏の両氏で「薬物
依存の現状と立ち直り支援につい
て」と題し講演していただいた。

はじめに、都職員の苅部氏から
「薬物依存からの脱却・立ち直りをめ
ざして相談対応している現状と薬物
について」とダルクの加藤氏からは
「回復支援とその対応について」熱
く語っていた。

最近、薬物使用による芸能人等の
マスコミ報道が度々あり、聽講する
参加者から多くの質問が出て、薬物
の根深い問題を再認識する機会とな
った。

(記 広報部)



西多摩地区保護司会 新年会

日本中に大雪の気象情報が届く一月二十四日(火)、羽村市「ゆとりぎ」で西多摩地区保護司会新年会が盛大に開かれた。

羽村分区の皆さんのが清興に合わせて全出席者が「羽村市歌」を歌い和やかに新春の会が始まった。

武内会長の挨拶の後、来賓の羽村市北村副市長の祝辞に続き、村木東京保護観察所立川支部長より「私は西多摩の出身です。先ほど、羽村市歌を聞き羽村に住んでいたこともありました」と話された。続いて、多摩地区保護司会連絡協議会の野崎会長から祝辞とともに六プロック協議会のお礼と平成二十八年度多摩地区保護司会全体研修会の開催について紹介があった。

宴もたけなわになつたころ恒例の福引となり、次々と賞品をゲットする羽村分区に、「歌もうたつてもらつたからしようがないか」と、やつかみ交じりの歓声が上がつていった。分区間の交流もあり賑やかに時間が流れ、最後に八人の分区長の手締めで終了した。

(記
広報部)



武内会長挨拶



清興・羽村分区の皆さん



村木支部長祝辞



恒例の福引



水谷修 氏

**平成二十八年度
多摩地区保護司会連絡協議会
保護司会全体研修会
講師 水谷修 氏**

平成二十九年二月十六日、府中の森芸術劇場にて多摩連初めての全体研修会が行われた。西多摩地区保護司会からは六十五名の参加があった。野崎会長より多くの困難を乗り越え実現できたこの研修会への思いが語られた。講師水谷修氏からは深夜の繁華街でのパトロールを通して、多くの若者とふれあい、非行防止と更生保護に取り組んでいる様子が臨場感あふれる表情、言葉で語られた。H.I.Vで亡くなつた「あいさん」を見舞つた際の会話を再現した場面は緊迫感も漂つていた。他にもよくそんなに早口で次々に言葉が出るのか速射砲のようにも多くの場面が再現された。最後に未来を背負う子どもたちの健全な成長を願い、大人たちが通学時間には外に出て一言声をかけましようと結ばれた。

(広報部
三ツ木謙三郎)

各分区の視察研修

「有明高原寮」

青梅分区 橋本光正

十一月十四日午前八時に青梅市福祉センター前に集合し、保護司と保護司OB、更女役員の参加のもと総勢二十八名で研修旅行に出発した。

途中松本城近くのソバ店で昼食後、城周辺を散策してから目的地である有明高原寮へ向かった。

有明高原寮は、戦後NHKで放送されたラジオドラマをもとにした映画「鐘の鳴る丘」のロケが行われた男子少年院で、当時の建物は近くに移設されているが、北アルプスの燕岳の麓にあり、安曇野の自然豊かな高台にあった。

到着してまず驚くのは、他の施設のような塀などの外部と隔てている構築物がないことだ。

説明してくださった田川寮長によると、全国五十二施設のうち塀やフェンス・鉄格子がないのはここだけで、再犯入所者はいないとのことだった。

開放的で、逃げようと思えばいつでも逃げられる状況から、少年たちは信頼していることを実感しているようだ。



平均の入所者は、平成十八年度は二十三名、二十七年度は十四名で、視察当日の在寮者は七名とのことだつた。

「黒羽刑務所」

福生分区 平田みつ枝

親子合宿や保護者会などで家族の絆の修復を図るとともに、運動会や盆踊りなどを地域社会の支援を受けながら実施し、交流を図ることで、自分も社会の一員として扱われていることを実感している。

寮長が最後に「今後も有明高原寮は、徹底した開放処遇を実施していくことをお約束します」と力強く言つた言葉が忘れられない。

翌日の帰途の車中で、吉澤前西多摩保護司会長から、十一月十日に細田副会長、前園保護司とともに、畠本尚美法務省保護局長および西川克行検事総長に会い、保護司業務について説明したとの報告があつた。

この刑務所は昭和四十六年三月に宇都宮刑務所廃止に伴い黒羽刑務所として創設され、宇都宮・足利・大田原拘置支所及び喜連川刑務支所の四支所を所管する大規模刑事施設である。

また、平成十九年に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」、平成二十二年「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」に基づく事業を開始し、官民協働施設として運用されている。

収容定員は一千七百八十名であるが、平成二十六年以降は七十パーセント程度で、窃盗、覚醒剤等薬物事犯が半数を占め、実刑期十年未満

十一月九日、昨日降っていた雨もあがりまだ曇の残る中、福生分区の視察研修がスタートした。

バスの窓からは、赤や黄に染まつた木々がすでに初冬の趣を醸し出している。そんな中、途中立ち寄った那須では突然の雪の妖精がお出迎え。目的地の黒羽刑務所では、説明をしてくださった久保川庶務課長さんが以前東京保護観察所立川支部での勤務経験があり、思わず全員が前めりになる程の聴講姿勢。

この刑務所は昭和四十六年三月に宇都宮刑務所廃止に伴い黒羽刑務所として創設され、宇都宮・足利・大田原拘置支所及び喜連川刑務支所の四支所を所管する大規模刑事施設である。

二十六歳以下の男子受刑者を収容している。



座談会終了後、正門まで送つて下さった刑務官が優しい笑顔でいつもでも手を振つてくれていた姿に、受刑者も心穏やかに更生を願つてゐるであろうと温もりを感じつづけ。少し沢山刑務所作業製品を購入すればよかつたかな?」とちょっぴり反省しながら次の目的地にバスは進んだ。

「赤城少年院」

羽村分区 齊藤 博文

十一月七日、秋晴れの清々しい青空の中保護司十六名事務局一名の十七名で羽村市役所を出発した。

途中、群馬県庁（前橋市）に立ち寄り、三十二階の展望ロビーから見る素晴らしい景色に癒された後、午後一時三十分東京ドームよりも一回り大きな敷地と赤城山に囲まれた自然環境豊かな赤城少年院に到着した。

田中院長から施設等の説明があり、昭和十七年に赤城少年道場として収容開始、昭和二十二年榛名少年院として開設、昭和二十七年赤城少年院に改称、平成十九年少年法一部改正により、十四歳未満の少年を収容する少年院として指定。平成二十七年新少年院法施行により、義務教育課程I・II及び社会適応過程I・IIIを実施。

関東、山梨、長野、新潟及び静岡の家庭裁判所で第一種少年院送致の決定を受けた、おおむね十六歳未満（中学生）の男子少年を収容、教育期間は平均一年程度で、中学校における教科を中心に、心身の発達程度に応じた生活指導を実施している。定員は百二十三名で本日までの収容人員は四十名、職員は五十三名との話しであった。

その後施設内を案内してもらい、小学生寮（ひまわり寮単独室三室、全国でも小学生十二歳児の入寮はない）が特に印象に残った。

卒業証書授与式には各学校の校長先生、担任の先生、両親が出席し涙を流す院生も多いと説明を受けた。

最後に、匿名の少女から届いた激励の手紙を記念する石像「励ましの灯」を見学し研修を終えた。

職員の献身的な対応に、少年たちが更生してほしいと願い赤城少年院を後にした。

今夜の宿、伊香保温泉に向かう車中で、赤城少年院での各自の意見交換があり、有意義な研修であった。

十一月二十一日、あきる野分区二十二名で、新潟県長岡市にある新潟少年学院を訪れました。

学院は、昭和二十四年に新潟県農尾道場の施設を改修して収容を開始、その後長期処遇、生活指導過程の少年院に指定され、平成二十七年には社会適応過程の少年院に。また、法務省の高卒認定試験受験指導モデル施設に指定されています。

収容定員百十名のところ、現在の収容人数は四十五名。四十二名の職員で処遇を行っています。

在院者の一日の流れは、七時の起床から二十一時の就寝まで規則正しく行われています。

更生教育の内容は、生活指導、職業訓練、教科指導、体育指導、特別活動指導など、少年たちに働きかけられています。

それまでの不規則な生活習慣から非行を犯してしまった少年たちが、少年院で健全な生活を過ごすことで心が安定し意欲が湧いてくるだろうと想像されます。また、家族関係の改善指導や、他人との関わり合いの方の指導も段階的に行われています。

少年院での手厚い更生教育を受けた少年達が社会復帰する時に不安を感じています。

「新潟少年学院」

あきる野分区 鈴木 千賀子



「会津若松地区 保護司会を訪ねて」

瑞穂分区 原 隆寿

十一月九日・十日、保護司十三名に福祉課長が随行し、NHKの大河ドラマ「八重の桜」の舞台にもなつた、福島県会津若松市を訪ね、同地区保護司会と意見交換をしてきました。

会津若松市は、先の東日本大震災では、壊滅的な被害は免れたものの、原発事故の風評被害など、ご苦労も多かつたようです。

同保護司会では、会長ほか役員の方々が時間を割いていただき、元医療施設を活用したサポートセンターにおいて、保護司会としての取組みを紹介してくれました。

ベテラン保護司が新任保護司をサポートする仕組み、社明運動における中学生との対話集会、サポートセンター設置の経緯や運営など、保護司会としての創意工夫や努力の成果について、貴重なお話を伺うことができました。

何より地元の皆さんのがんばりが、とかく固くなりがちな場の雰囲気を和ませ、和気あいあいの中での交流を深めることができました。

また、保護司会との話し合いに先立ち、市の生涯学習センターにおいて

て、地域でも名高い民生児童委員の山ノ内千代子氏とお会いし、日頃の活動に対する思いや地域の実情を伺いました。

「たくさんの方々が手に、親と子、孫が互いに支えあい、その礎には先祖、先人の存在があること。また、そうした人々が自然の恵みの中で生かされていること」などを熱く語ってくれたのが印象的でした。

こうして、一泊二日の研修を終えましたが、ボランティア活動に従事する方々の高い志とともに、地域での連携の大切さを改めて感じさせられました。

車窓を流れる「鶴ヶ城」に目を凝らし、幕末の激動の歴史に思いを馳



「法務省及び 刑事裁判傍聴」

奥多摩分区 木宮 憲子

十月十八日(火)保護司七名と事務局一名の計八名で奥多摩を出発しました。

法務省で小川観察官と合流、すべての行程を同行していただきました。

初めての刑事裁判傍聴、今回二件の事案を傍聴することができました。裁判官の入室とともに「起立・礼」から開廷、傍聴室は何とも言えない張りつめた緊張感、その中で淡々と案件が進められていくことに驚きを感じました。

そして、「起立・礼」で閉廷、薬物事犯の被告人が言った「守りたいものを見つけたい。探したい」私にとってとても印象に残る言葉でした。昼食は二十階にある眺めの良い食堂にて、眼下には皇居外苑が見えました。

幸島所長には、お忙しい時間帯にわざわざお会いしていただき貴重なお話を伺うことができました。

踏み外した人たちに、会津の人々は、こう語りかけるのかもしれません。「ならぬ事はならぬものです。」と。

せる時、心ならずも社会のルールを踏み外した人たちに、会津の人々は、和やかな雰囲気でとても有意義な訪問でした。

法務史料展示室見学、旧司法大臣官舎大食堂として使われていた当時の姿を復元したもののこと。
床、壁、天井、腰壁など素晴らしい明治時代にタイムスリップした雰囲気でした。

村木支部長にも同席していただき和やかな雰囲気でとても有意義な訪問でした。



「かりいほ」

(日の出・檜原分区合同研修)

日の出分区 對馬 伸一郎

十一月九日、日の出・檜原分区保護司、日の出更女、事務局十三名で栃木県大田原市にある社会福祉法人紫野の会の障害者入所更生支援施設「かりいほ」を訪問した。
「かりいほ」は仮の庵という意味で、罪を犯した障害者を受け入れている。

昭和五十四年四月に設立され、現在利用者は三十名。職員は二十五名(その内、支援者は十六名)。敷地面積は六万m²。三方を山に囲まれた広く静かな環境の中に男子棟、女子斜面では野菜や果樹、お茶の栽培や炭焼き、漆の採取が行われている。

当日は販売用のたくさんの柚子や銀杏が収穫されていた。
施設長さんの説明によると、開設当初は知的障害のある利用者たちだったが、今は発達障害を伴う利用者が九割を占め、衝動性や自閉傾向と相まって、関わり方が非常に難しいとのことであった。

施設内での突発的な暴力、盜難などで職員だけでは対応出来ない時は、警察に来てもらっているそうである。各棟では個別に職員が付き添いな

がら出荷の準備のほか、クリスマス用のリース作りや結び織りなどの創作活動が行われていた。

社会の中できちんとした障害理解が得られず、また、適切な福祉の支援も受けられない中、様々な「生きづらさ」を抱えながらも自立を目指す入所者たちと泊りがけで熱心に支援に当たる職員の姿に接し、発達障害者と犯罪、福祉制度の充実と更生保護の在り方について深く考えさせられた。

刑務所や少年院といった矯正施設とは違った視点で多くのことを学ぶことが出来た。

その日は塩原温泉で冷えた体を温めた後、親睦を深めた。
翌日は紅葉の中を満喫しながら日光方面に移動し、足尾銅山を見学して研修を終えた。

平成二十八年十一月十七日(木)午後一時三十分より青梅市福祉センターにて行われた。講師土居氏は元主任観察官で西多摩を担当された方である。

犯罪被害者の心情、被害弁償をどう考えるか、保護司に留意してほしいこと等ユーモアを交え、表情豊かなご講演であった。

交通事故では、加害者や家族は何も言ってこず、保険会社の人だけが来て、保険金が下りたらそれだけ。加害者は普通の生活に戻つても、被害者は元の生活に戻れないなど被害者の心情を語る場面が印象的であった。

最後に「保護司は被害者の存在も心の片隅に、対象者の一番の頼りになる味方であつてほしい」と結ばれた。(青梅分区 三ツ木謙三郎)

実務研修講座

(青梅・奥多摩ブロック)

「被害者のことを知つてください」

講師 土居 裕子氏



「学校と保護司の連携」

講師 吉澤 洋子氏
対馬 伸一郎 氏

一月二十六日、日の出町役場会議室に於いて「学校と保護司の連携」をテーマに研修会が実施されました。

今回は、日の出の対馬保護司が中学校校長當時、青梅の吉澤保護司に大変お世話になつたというお話を伺い、お二人に体験談をお話ししていただきました。

対象者や家族との大変な関わりの中から、保護司と学校がそれぞれの立場で真剣に取り組まれ、立ち直り更生していくお話を聴き、涙が止まりませんでした。

様々な環境や体験から大人を信用しなくなってしまった対象者との信頼関係を築くのはとても大変なこと。真剣に向き合い、寄り添い、認めてくれる。そんな人がいてくれることで人は変わることが出来るのだと思いました。



(日の出分区 辻本恵子)

会務報告

第二回 理事会報告

平成二十八年十二月八日(木) 青梅市福祉センターで開催した。

「協議事項」

- ① 平成二十八年度中間決算。平成二十八年度事業報告及び平成二十九年度事業計画(案)・予算(案)の作成依頼。
- ② 研修実施状況の報告と多摩連保護司会講演会の説明。
- ③ 社会貢献活動及び社会参加活動の結果と西多摩地区保護司会講演会の説明。
- ④ 会報第百二十号の発行と百二十一号の予定及び各分区の視察研修の感想文と写真の寄稿依頼。

「羽村市生涯学習センター(ゆとりぎ)」



今後の行事予定

平成二十九年度西多摩地区保護司会定期総会
平成二十九年四月二十七日(木)

午後三時三十分

平成二十八年十二月二十二日発令

新任保護司(敬称略)

左記の方が新たに保護司として委嘱されました。今後の活躍を期待します。

左記の方が御逝去されました。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(合掌)

悼



高橋 洋子

(青梅分区)



加藤 博

(羽村分区)



佐久間 英明

(羽村分区)



島田 芳雄

(羽村分区)



中野 秀之

(羽村分区)

志村 武保

(瑞穂分区)

編集後記

大相撲初場所で初優勝した大関稀勢の里が、横綱に昇進しました。日本出身の力士としては、十九年ぶりの横綱とのことです。

先代の師匠からは、地道に、苦しい時も、嬉しい時も普段と変わらぬ「侍の心意気」を教えてくれたと言われており、今後の活躍が期待されました。

さて、二年前に発足した十人の広報部による会報も、地道な作業を重ね、六回目をお届けすることができました。皆様からのご協力、大変ありがとうございました。

- 西多摩地区更生保護女性会との協議会(十一月十一日開催)
- 二十八年度 社明運動報告
- 保護司の年間活動状況報告
- 西多摩地区観察協会参与との協議会(十二月一日開催)
- 二十八年度 保護司の年間活動状況報告
- 西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)
- 二十八年度 保護司の年間活動状況報告
- 西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)
- 二十八年度 保護司の年間活動状況報告

平成二十八年十二月二十一日付
尾崎 昌子(あきる野分区)
(在職二十年)



平成二十八年十二月二十一日付

下嶋 和彦(瑞穂分区)
(在職二十八年)



中野 秀之

(羽村分区)



平成二十八年十二月二十一日付



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告



西多摩地区更生保護女性会との協議会(十二月一日開催)



二十八年度 保護司の年間活動状況報告

